

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

◇ 教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び士別市の状況をレーダーチャートで表示
《士別市の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出》

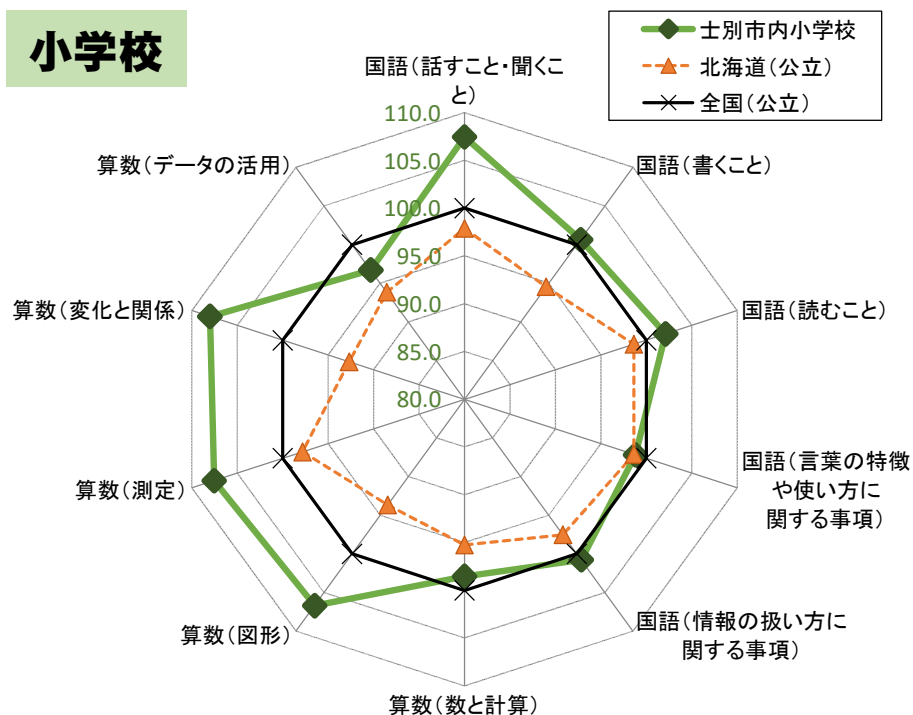
* 中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

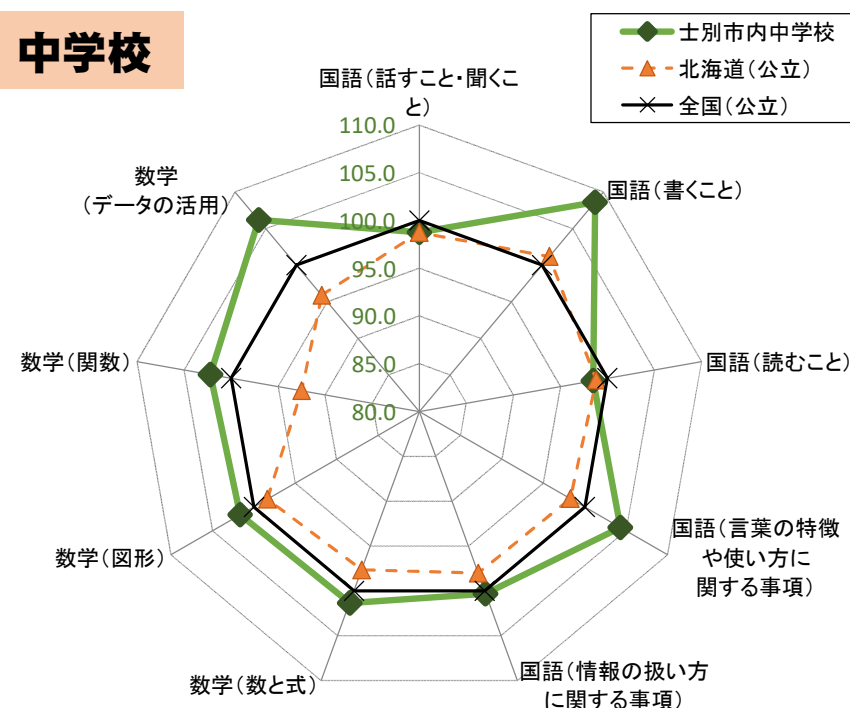
※中学校英語は平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
士別市	62	58	66	59	491
北海道(公立)	60	54	63	55	490
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

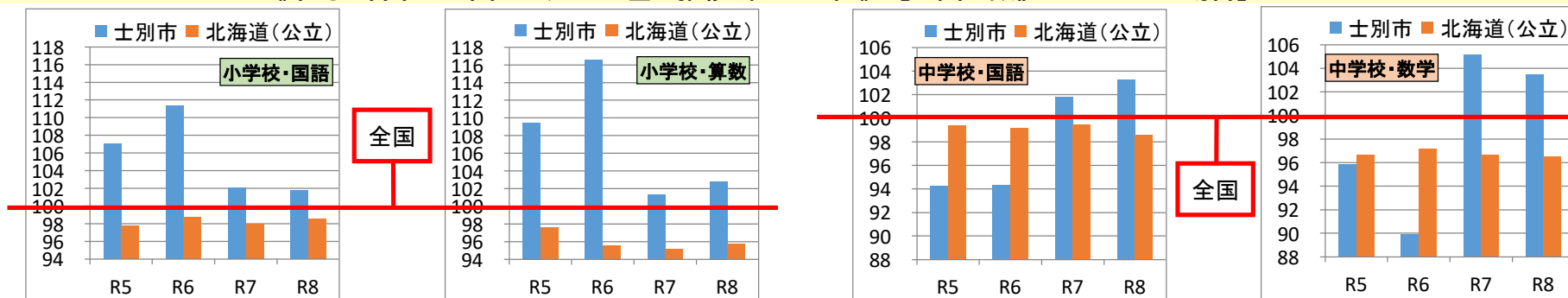
小学校



中学校



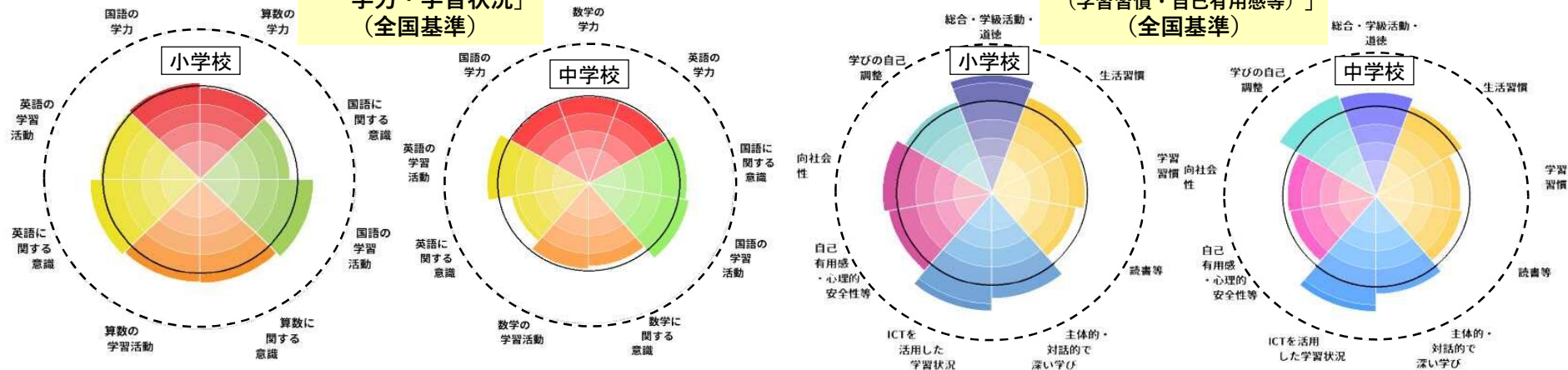
《平均正答率の全国・全道との差の推移(R5~R8)》【全国の数値を100とした場合】



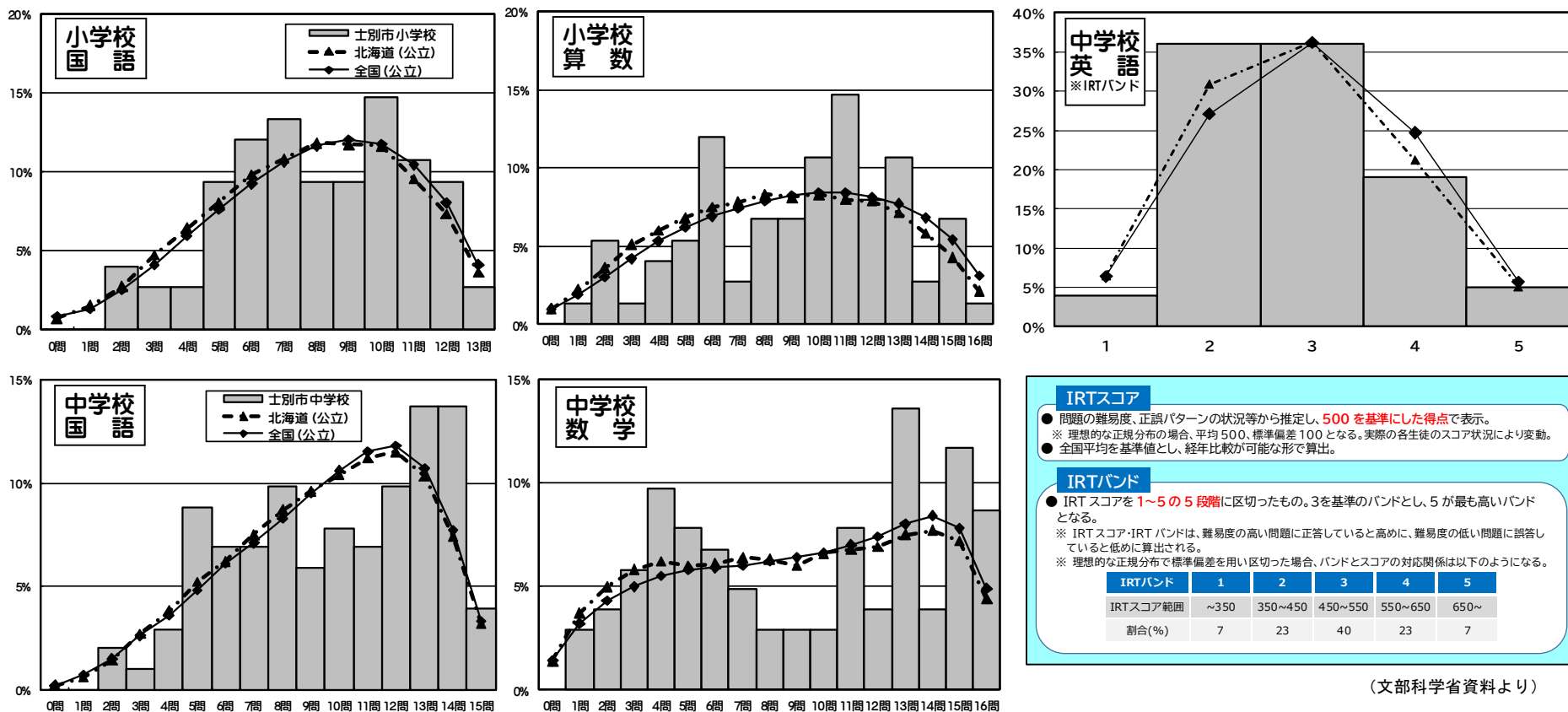
○ 結果チャート

〔教科を中心とした
学力・学習状況〕
(全国基準)

〔その他の学力・学習状況
(学習習慣・自己有用感等)〕
(全国基準)

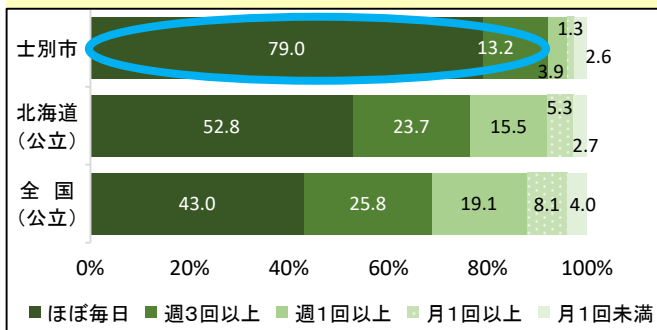


○ 正答数分布グラフ・IRTバンド分布グラフ

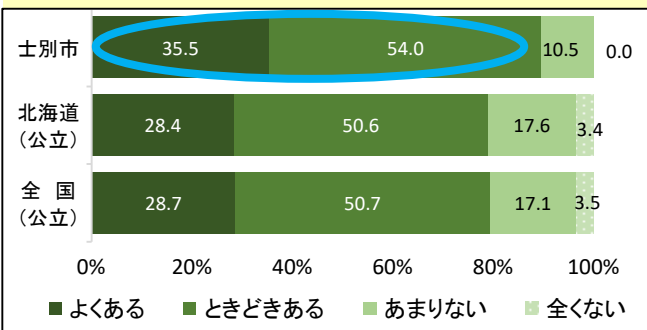


○ 質問調査(児童質問紙・生徒質問紙)の状況

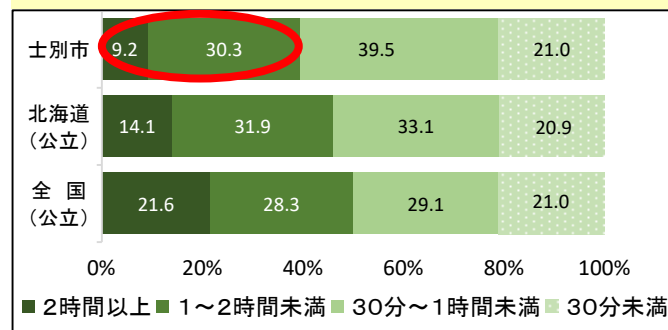
【小学校】授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



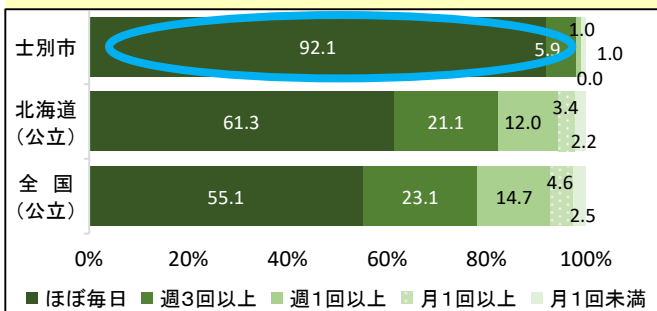
【小学校】分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



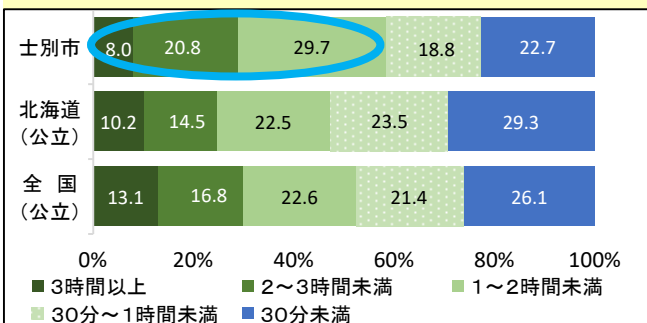
【小学校】学校の授業時間以外に、平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。[課題傾向]



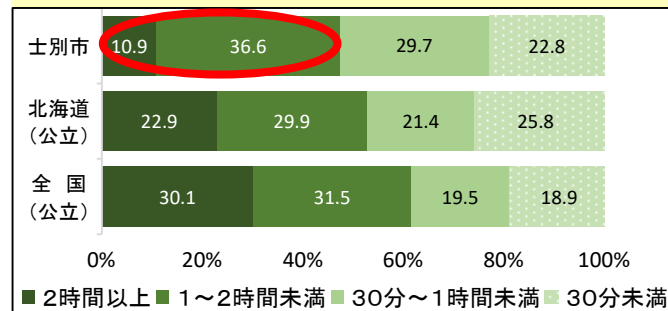
【中学校】授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



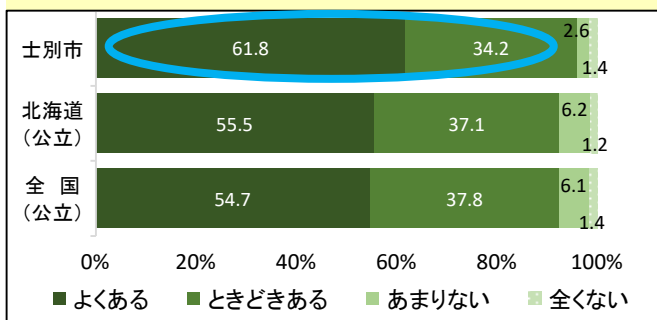
【中学校】学校が休みの日に、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



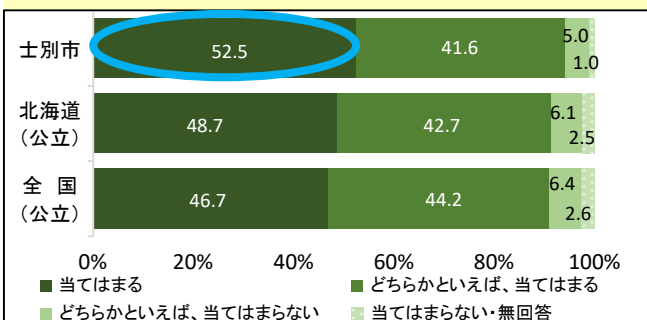
【中学校】学校の授業時間以外に、平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。[課題傾向]



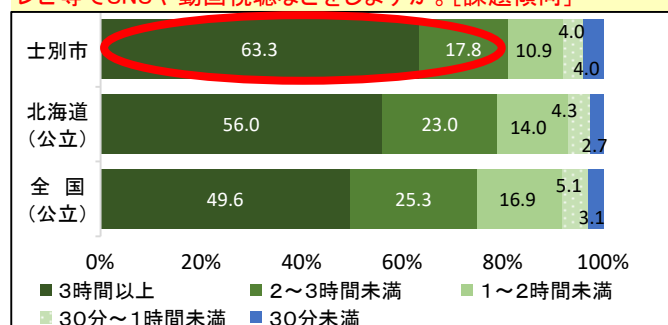
【小学校】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



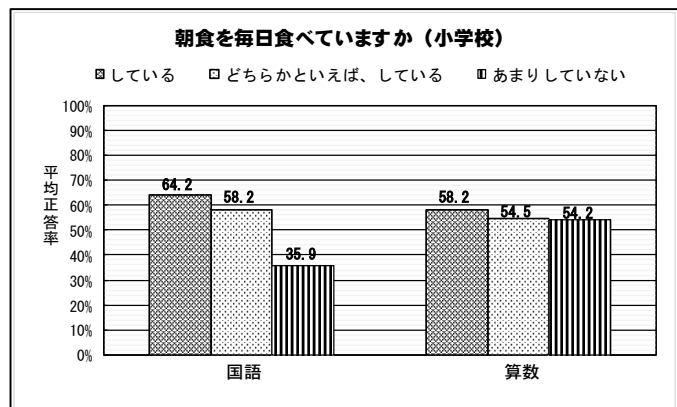
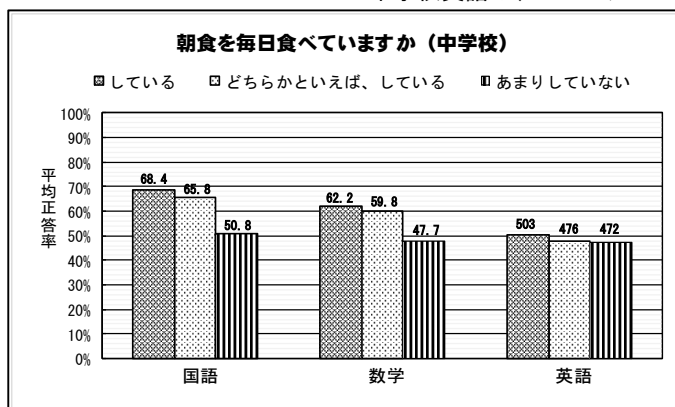
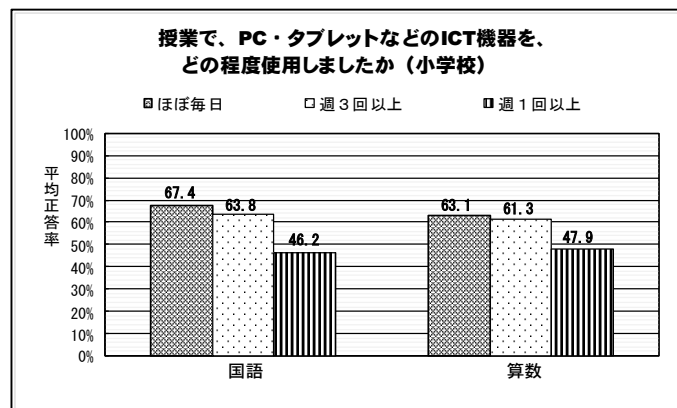
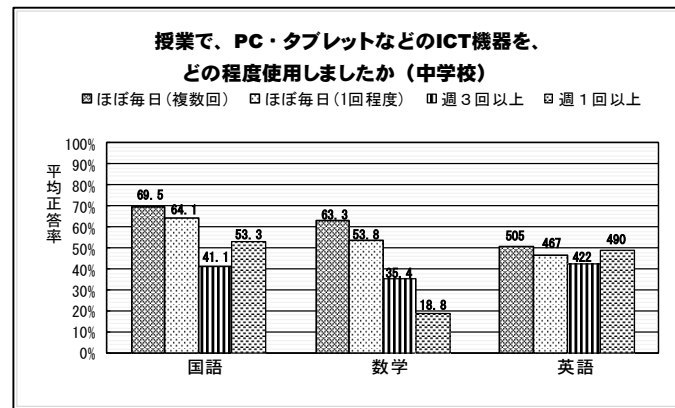
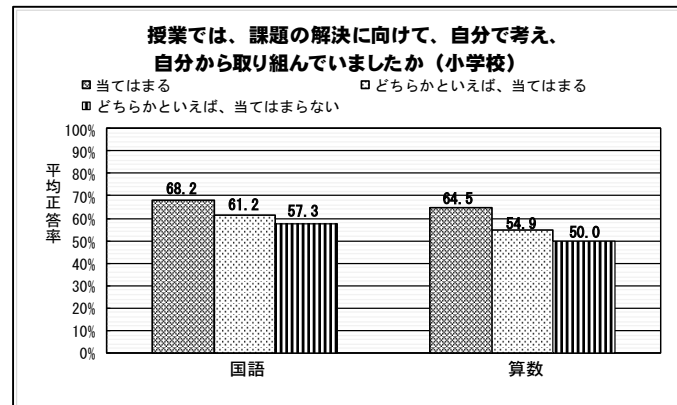
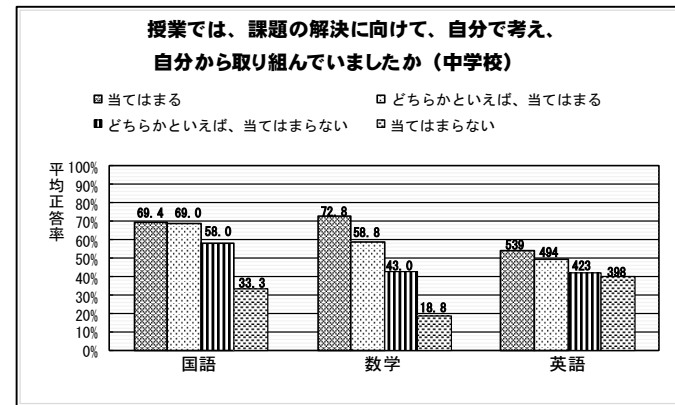
【中学校】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



【中学校】平日(月～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか。[課題傾向]



○ クロス集計[質問－教科]グラフ



○ 調査結果の分析

◇小学校は国語・算数、中学校は国語・数学で全国・全道の平均正答率を上回った。中学校英語は全国を若干下回ったが全道と同程度の平均IRTスコアで、全体として良好な学力の定着が見られる。

◇調査教科の領域別では、小・中学校ともに多くの領域で全国平均を上回っており、特に中学校では各教科とも安定した結果となった。一方、小学校では一部の領域で全国平均との差が縮小、または全国平均を下回る結果が見られることから、基礎的・基本的な学力の定着を引き続き図る必要がある。

◇質問調査では、小・中学校とも授業におけるICT機器活用が高く、学習活動でICTを積極的に活用している様子が見られる。一方、家庭学習時間や家庭での学習習慣には改善の余地が見られ、学校と家庭が連携した継続的な取組が求められる。

◇クロス集計では、小・中学校とも、「朝食を毎日食べている」児童生徒、「授業でICT機器を積極的に活用している」児童生徒、「課題解決に向け自分で考え主体的に取り組んでいる」児童生徒ほど、平均正答率（平均IRTスコア）が高い傾向が見られた。学習習慣や基本的生活習慣、主体的な学びの姿勢が学力と関連していることがうかがえる。

● 今後の改善方策

■各学校における授業改善や校内研修、各種主催（市教研・市教委等）研修を充実させ、主体的・対話的で深い学びの授業づくりを推進するとともに、教員の授業力向上と指導方法の共有を図る。

■ICT機器や学習支援ソフト、AIドリル等を効果的に活用し、児童生徒一人一人の学習状況に応じた個別最適・協働的な学びを充実させ、思考力・判断力・表現力の育成と学習意欲の向上につなげる。

■家庭学習については、学校と家庭が学習習慣・生活習慣の重要性を共有するとともに、ICTを活用した家庭学習や個に応じた学習支援を推進し、学習時間の確保と計画的な学習習慣の定着を図る。

■本調査の結果を各学校の教育活動改善に生かし、児童生徒が課題を自ら考え、主体的に学び続ける授業づくりを推進するとともに、基本的生活習慣の確立や自己肯定感の向上を学校・家庭が連携して支援する。